第１回　小布施町総合計画審議会　会議録

日　時：　令和６年３月 21 日（木）午後３時 30 分
場　所：　小布施町役場３階　公民館講堂
出席者名簿：
＜委員＞

氏　名	役職等	備考
中村　雅代	小布施町議会総務産業常任委員会委員長	
関　良幸	小布施町議会社会文教常任委員会委員長	
大島　孝司	小布施町自治会連合会会長	
島津　忠昭	小布施町農業委員会会長	
土屋　元博	小布施町民生児童委員協議会長	
竹村　千代美	小布施町保健福祉委員会会長	
中沢　英俊	小布施町消防団団長	
浅岡　修一	小布施町文化財保護審議会会長	
原　英之	小布施学園コミュニティ･スクール運営委員会会長	
半田　幸雄	小布施町人権のまちづくり委員会連合会会長	欠席
高野　薫	小布施まちづくり委員会会長	
藤本　富士雄	小布施町商工会会長	
大窪　経之	小布施文化観光協会会長	欠席
吉田　省吾	小布施町シニアクラブ連合会会長	欠席
関　悦子	小布施町文化協会会長	欠席
久保田　隆生	小布施町スポーツ協会会長	
荒木 庸輔	特定医療法人新生病院　常務理事	欠席
三浦　正士	長野県立大学グローバルマネジメント学部専任講師	
塚田　博	公募	
市川　博之	公募	欠席

＜総合計画審議会　幹事＞

氏　名	課　名	職　名
新井　隆司		副町長
山﨑　茂		教育長
大宮　透	総務課	課長
永井　芳夫	健康福祉課	課長
須山　和幸	住民税務課	課長
宮﨑　貴司	産業振興課	課長
芋川　享正	建設水道課	課長
藤沢　憲一	教育委員会	次長
鈴木　利一	議会事務局	事務局長

＜総合計画審議会事務局＞

氏　名	課・係名	職　名
益満　崇博	企画財政課	課長
塩野崎　隆基	企画財政課企画交流係	係長
佐藤　孝幸	企画財政課財政係	係長
江澤　公亮	企画財政課企画交流係	主査

１．開　会

益満［事］：第１回小布施町総合計画審議会を開催します。進行を務める企画財政課の益満と申します。よろしくお願いします。では、次第２の総合計画審議会について担当より説明を差し上げます。

２．審議会条例、規則の説明

塩野崎［事］：審議会条例、規則について説明。

３．委員委嘱

益満［事］：ただ今説明のあった小布施町総合計画審議会条例の第３条２項の規定に基づき、町長より委員のご委嘱を申し上げます。

―町長より委嘱―

４．町長挨拶

桜井町長：令和６年度に第七次総合計画を作るにあたり、皆様のお知恵を拝借するわけですが、４年前の第六次総合計画のとき、私は商工会長として、この審議会の運営や進行役を任されていました。早いもので第七次総合計画が始まりますが、４年前のときと大きく世の中が変わってしまいました。台風19号の災害でありますとかコロナ禍で世界中が混乱をし、ライフスタイルや価値観が変わりました。とはいえ、小布施町に住む人たちにとって幸せに生きたいというこの基本だけは変わらないと思っています。
現在このような状況の中で小布施町に住む方たちが、これぞ小布施町だと思えるようなまちづくりが出来るよう、いろいろ方の教えを乞うことが出来ればとおもっています。

益満［事］：委員紹介の前に職員の自己紹介をします。

－職員紹介－

５．委員紹介

町長：委員の皆様からの自己紹介をお願いします。

－各委員自己紹介－

６．会長の互選について

桜井町長：総合計画審議会の会長を決めるため、互選をお願いします。立候補もしくは推薦など
意見や発言があればお願いします。

浅岡委員：推薦を申し上げます。小布施町自治会連合会長の大島　孝司さんを推薦します。自治会連合会の会長をされており、各自治会の声が反映でき、また長年、小布施町議会にて議長をやられた経験によりリーダーシップがとれるため推薦します。

桜井町長：浅岡委員から大島委員の推薦がありましたが、委員の皆さんいかがですか。賛成いただ
ける方は拍手をお願いします。

－委員全員拍手－

桜井町長：続きまして副会長ですが、会長の指名となります。

大島会長：皆さんのご協力により、一生懸命進めさせていただきます。よろしくお願いします。規則第５条より副会長は会長が指名するということで、私の方から指名します。まちづくり委員会の会長である高野　薫さんを副会長に指名したいと思います。

－委員全員拍手－

大島会長：会長代理として、高野薫さんにお願いします。

高野副会長：僭越ながら会長からの指名ということで邁進してまいりますのでよろしくお願いします。

桜井町長：大島会長、高野副会長よろしくお願いいたします。

７．諮問

益満［事］：桜井町長から大島会長に諮問書をお渡しします。

－桜井町長から大島会長に諮問－

８．審議

大島会長：大変不慣れなことではではありますが、皆さんのご協力を得ながら進めさせていただきます。総合計画審議会条例第５条第３項により会長は会務を総理するとありますので、ここから進行を務めさせていただきます。ただいまから審議に入りたいと思います。

大島会長：最初に（１）第六次総合計画の振り返りについて事務局から説明をお願いします。

塩野崎［事］：資料１説明

大島会長：莫大な量の資料になりますので、次回より事前に資料の配布をお願いします。

塩野崎［事］：大変申し訳ありません。次回からは事前に資料等をお送りします。

大島会長：何かご質疑、ご意見ありましたらお願いします。いきなりこれだけの量を見せられても、意見も出にくいと思います。資料を読んでいただき、またご質問ご意見あり

ましたらお願いします。

大島会長：次に（２）第七次総合計画策定について説明をお願いします。

塩野崎［事］：資料２説明

大島会長：これについて何か質問、意見ありましたらお願いします。

久保田委員：第六次総合計画では専門部会が３回開かれていますが、審議会の委員がここに関わっていたのでしょうか。また、専門部会と今回の町民ワークショップとは違いがあるのかの説明をいただきたいです。

塩野崎［事］：ご指摘の通り、前回の総合計画策定のときに行う専門部会に代わるものとして、町民ワークショップを予定しています。審議会委員の皆様には、積極的に町民ワークショップへ参加いただき、審議会に反映していただければありがたいです。

久保田委員：前回の専門部会には審議会委員はかなり参加されたのでしょうか。

益満［事］：前回の第六次審議会委員の皆さんの何名かご参加をいただき、議論をしていただいたという経緯があります。今回も同様に審議会委員の皆様にも、町民ワークショップに参加いただき、より多くの町民の皆さんと議論していただきたいです。

土屋委員：町民アンケートについて、無作為抽出で 1,000 名ということですが、より多くの方に意見を聞いた方がよいのではないでしょうか。ウェブでのアンケートを広い幅広い年代に向けて書いてありますが、ウェブでのアンケートと紙面のアンケートとやり方がちがうということでしょうか。また、アンケートに 20 歳以上と書いてありますが、若い人の意見を吸い上げるということであれば、18 歳以上も範囲に入れるなどは検討したのでしょうか。

塩野崎［事］：1,000 人が少ないとのことですが、統計的に小布施町の人口規模でいくと、1,000 人の抽出で大体のトレンドがつかめるためこの人数で実施します。

２点目のウェブとやり方が違うかについて、同じ内容のアンケートをグーグルフォームなど無料で使用できるシステムで回答をしていただく予定です。ウェブアンケートは、町報やＳＮＳにＱＲコードを載せ、お手持ちのスマートフォンなどで回答していただこうと考えています。紙面アンケート 1,000 人プラスウェブアンケートで、なるべく広いご意見をいただきたいと考えています。また、20 歳以上ではなく、18 歳以上のかたにもアンケートに参加いただけるよう検討します。

塚田委員：今後の１年間のスケジュールですが、総合計画審議会６月下旬、10 月下旬、２月の上旬以降になっていますが、それぞれテーマを決め話し合うのでしょうか。

塩野崎［事］：テーマは特に絞りません。町民ワークショップではテーマを決めワークショップを行いますが、審議会では町民ワークショップで行った全てのテーマについて取りまとめ、審議を行っていただくため、特に専門的なテーマについて話し合うことは想定していません。

土屋委員：町民アンケートは、18 歳以上という案も出ていましたが、30 代、40 代、50 代など年代別にアンケートを取るなどの案は考えていないのでしょうか。

塩野崎［事］：20 代からそれぞれ何人、30 代、40 代で何人というように、今までの回答率等を加味し、均等に回答いただけるよう調整を取っていきます。

大島会長：ほかに意見がないようなので、（３）総合計画町民アンケートの実施について説明をお願いします。

塩野崎［事］：資料３説明

大島会長：質疑ご意見ありましたらお願いします。

塚田委員：町民アンケートは、女性、特に 20 台、30 代、40 代の声を多く聞いた方が良いと思いますが、どのように対象を抽出しているのでしょうか。

塩野崎［事］：参考までに、第六次総合計画冊子の 28 ページをご覧ください。1,000 人アンケートを実施するにあたり、回答率も考慮の上、20 代が 200 人、70 代以上が 100 人というように対象者にばらつきを付け幅広い年代に回答いただくよう調整をとっています。男女別に関しては、女性の意見は大切だと承知していますが、女性だけ多くすることは想定していません。無作為と言いつつ、男女でほぼ半数になるように調整しています。

高野副会長：総合計画のそれぞれの分野の「ありたい姿」と「現状と課題」がありますが、このアンケートによってどちらを抽出するのでしょうか。

また、例えば少子高齢化のような社会的な課題などもあるかと思いますが、誰が検討するのか分かりません。町民ワークショップでやりたいことや、ワークショップをやることによって審議会委員の役割が何なのかというところを明確にしていただきたいです。

塩野崎［事］：町民アンケートに関しては、後半の設問でより政策についてイメージしやすい

ように具体的な施策を示しています。ありたい姿というような、大まかなイメージよりも実際のそれぞれの分野ごとの具体的な事業名についての重要度を聞くことにより、役場でやっている施策が必要とされるのか参考にしていきたいと考えています。また、具体的な施策に基づいた、ありたい姿の参考にしたいと考えています。

また、町民ワークショップに関して、具体的なスケジュールや、どのようなスキームで進めるか、どのような分野を議論するかなどはこれから詰めていきますが、各分野でありたい姿を示し、具体的な施策を議論していく予定です。さらに、役場の職員がファシリテーターで入る想定をしており、役場職員の職員研修の場としても位置づけています。

審議会委員の役割については、各ワークショップで上がってきたありたい姿や、施策などに対して、審議会委員の皆さんの意見を加味しながら、より具体的でわかりやすい形にまとめていきたいと考えています。

土屋委員：アンケートの問 15 から各分野に分かれて、ただ満足度や重要度と数字だけ入れようとしていますが、これ以外に当てはまらないこと、皆さん不満や言いたいこともあるのではないでしょうか。そこで、項目ごとに空欄を設け意見を聞く場を設けるという考えはないのでしょうか。

塩野崎［事］：ご指摘の通り空欄を設けず、ドライな質問になってしまいました。町民の皆さんの意見を聞くため、問 15 にも自由記載をできるよう調整します。

三浦委員：ただいまお二方から出された考えに賛成の意見として、問 15 以降のところで、満足度は現行計画の期間で町政が進展していたものに対しての住民評価ということで理解できます。

しかし、重要度がこの審議会の中で、どのように扱うかがわかりません。仮に質問項目の重点施策が重要ではないという回答が多かったとして、違う重点施策を考えていくことになりますが、代わりの重点施策をどのように考えていくかが不明確です。町民ワークショップでありたい姿や、現状の課題を深めていきながら、新しい重点施策となりうるものを考えていく方向性が良いと思います。

ただ、町民ワークショップがどういう役割で、何のために開催するのか、そこの目的の明確化をまずは図っていくべきです。そのワークショップから出てきた意見について、審議会委員は何を議論するかを明確にはしていく必要があります。

アンケートで充実を図るべき事業はなにかという質問がありますが、町民の皆さんがどの事業をやって欲しいと思っているかを測るデータのため、先ほど委員のみなさまからでた自由記入欄を作成したほうが良いというご指摘はごもっともだと伺っていました。そのため、一項目ごとに上記の項目以外に今後町政として推進すべき施策や、取り組んでいかなければならない課題などを具体的に記入してもらう欄を設けるよう

検討いただきたいです。こういう意見が出たということだけでも、町民ワークショップで、あるべき姿を考えるヒントになるようなもうアンケートになるかと思います。

塩野崎［事］：貴重なご意見ありがとうございます。土屋委員、三浦委員からいただいた意見を参考にしながらアンケートに自由記載欄を設け、いろいろな意見を記入いただくようにしていきます。

中村委員：町民ワークショップにも関連してきますが、子育て中の方は子育ての事が重要だと思っており、高齢者はこれからの福祉が重要になるのは当然のことだと思うので、ＰＴＡや保育園の保護者会にアンケートを取るなど、それぞれの関連の組織から意見を集めるというような考えはないのでしょうか。

塩野崎［事］：特に各関係団体にアンケートという形では今のところ想定していません。今後、町民ワークショップのテーマの中で例えば子育てならば、当然ＰＴＡの人に意見を聞いてみる、保育園の保護者会の意見を聞いてみるなど、それぞれのワークショップの方針によると考えています。

中村委員：総合計画策定にあたり、若年層の方の意見が必要という思いがあったか、町長との対談の予定があり、中高生の方たちとの意見を反映されてくるのを願っています。この様な対談形式で子育て中の方や、その関係者の方の意見を聞く場を考えていただきたいがどのようにお考えでしょうか。

町長：中学生、高校生という限定した言い方になっているが出来るだけいろいろ方とお話をしたいと思っています。特に小布施町を支える主婦の皆さんの意見を聞きたいが町政懇談会などではなかなか聞けません。そのため、積極的にできるだけ幅広い方々とお話をしたいと考えています。

中沢委員：アンケートの問 14 について、⑥環境防災インフラ整備とあります。環境と景観、防災と防犯、交通インフラ整備と一緒になっていますが、環境や景観を重視していると、交通インフラと相反するところもでてきます。そのため、この項目は分けた方が、何を求めているのはわかるのではないかなと思います。

塩野崎［事］：基本的には第六次総合計画のカテゴリ分けでやっていますが、環境、防災、インフラを一緒にするのはまとめすぎであるという意見はごもっともです。どのようなカテゴライズがいいのか、今一度検討させていただきます。

高野副会長：前回専門会に参加し、行政の方、町民の方とかなり話し込んで作りましたが、5 年経つ中で、できないことが出てくると、あんなに話し合ったのにという気持ちにな

ります。前回の審議会で真野委員が、総合計画を国が作れと言っているから作るのではなく、実のあるもの、遂行するためのものだと言っていました。そのためにも、計画策定の場には役場の職員も一緒になって考えてもらいたいと思います。

益満［事］：高野副会長には、前回出産子育て分野で専門部会にはいり、専門部会以外の場面でもお手伝いいただくなど、総合計画策定に携わっていただいたことを記憶しています。

審議会の委員の皆さんだけでなく、役場職員が自分事として、普段の仕事を通して総合計画の目標、ありたい姿を目指し、さらにそれらを達成するための事業を検討し、実行していくことが重要です。そのために、町民ワークショップの中に若い職員が参加し町民と一緒に議論をする中で、５年後、あるいはその先の小布施町を見据えたまちづくりに関わることが必要であると考えます。

高野副会長：振り返りシートの達成目標に関連したアンケート、庁内ヒヤリングということなのでしょうか。

益満［事］：振り返りシートは役場職員の中で、計画期間の途中の現在の進捗状況の分析を行ったものです。最終的な評価は令和 7 年度以降になるため、次回以降の審議会の中で示し意見をいただきたいと考えています。

大島会長：スケジュールについて、第七次総合計画は 2025 年から 2029 年までの５年間の計画ということよいでしょうか。

益満［事］：そうです。令和 7 年度を初年度とし令和 11 年度までの５ヶ年をということになります。西暦でいうと 2025 年度からです。

大島会長：このスケジュールからいくと、2025 年の 3 月にまとめると、議会で議決するのが６月議会になるということですか。

益満［事］：前回同様、２月上旬に審議会最終の会議を開き答申の形でまとめます。それを第七次総合計画の基本構想、基本計画を作成し、基本構想の部分について 2025 年３月の議会の場において、議案として上程し、議員の皆さんにも審議いただくスケジュールです。

大島会長：その時点で冊子の完成まで間に合いますか。また、町民にはいつ届くのでしょうか。

益満［事］：議決後、令和７年４月より冊子にする手続きを進めます。印刷に、1 ヶ月ほどかかるとして町民の皆様には５月くらいに配る予定です。

大島会長：他に発言がないため、その他について事務局にお願いします。

益満［事］：本日は膨大な量の資料を急にお渡しし申し訳ありません。改めて確認をいただき、
お気づきの点、ご意見などあれば事務局企画財政課企画交流係までお願いします。

大島会長：以上をもって第七次総合計画策定審議会終了します。

以上